



立命館大(情報理工)	岡山理大(理)	中村学園大(産科)	福岡大(理)	熊本学園大(経済)	崇城大(理)
倉敷商大(生命)	岡山理大(薬)	福岡大(文)	福岡大(文)	熊本学園大(文)	崇城大(文)
龍谷大(文)	岡山理大(経済)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
関西大(文)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
徳山大(経済)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
近畿大(産業理工)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
久留米大(理)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
久留米大(文)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
久留米大(文)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
久留米大(文)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
久留米大(文)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
久留米大(文)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
久留米大(文)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
久留米大(文)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
久留米大(文)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
久留米大(文)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
久留米大(文)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)
久留米大(文)	岡山理大(看護)	福岡大(看護)	福岡大(看護)	熊本学園大(看護)	崇城大(看護)

**短期大学**

鹿児島国際大(福祉)

大分県芸文化短

中村学園大短大

**その他**

熊本歯科技術専

防衛医大高等看護学校

熊本リハビリ学院

熊本リハビリ学院

アールソール立大

代々木フリースクール

熊本YMCA学院

## 「学問のすゝめ」がすすめるもの

中学教頭 宇藤 元文



「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」と言えり……。」ではじまる「学問のすゝめ」は、皆さんご存じのとおり、慶應義塾を開いた福澤諭吉が記したもので、今もって多くの人に読まれる名著です。時代を越えても読まれるこの本の底にあるものは何か、今なお新鮮な感覚で接することができるのはなぜか。

冒頭の一節は、「天が人間を造ったとき、万人は皆同じ地位、資格を持ち、生まれながら平等であるようにされた。しかし、現実に人間社会を見渡すと、貧富の差や、生活の中に差が出ている。その原因は、「学ぶか、学ばないか」によって起きているのである。」という意味のことを述べているのです。

記された時代が違うので、諭吉の考えがすぐに現代に当てはまるわけはあありませんが、「学ぶか、学ばないかの結果が富に繋がっている」ことを、皆さんが今の生活に例えていければ、次のようなことも知れませぬ。

どんな人にも、活躍の機会(チャンス)は平等にめぐって来るものです。しかし、そのチャンスは「チャンス」として活かせるかどうかは、その人の「日常の努力」によって決まるものだと思います。

「日常の努力」の中身に、私には、「学問すること」と言っています。私には努力の積み重ねでできることは、すべて「チャンスに生きてくる」ものだと思っています。

例えば野球で、ピッチャーの投げたボールが絶対好球であっても、打者のバットで練習が不十分であれば打つことはできません。パレーボールで、絶対のトスが上がっても、アタッカーの練習が不足しておれば、ポイントにはつながらないのです。入社試験も、大学入試も、すべてがそうだと思います。

チャンスはチャンスとして活かすための日常の努力点として、私は次の三つを考えてみました。

一、**チャンスを感じとり、チャンスに気づく目を育てること。**

チャンスには、型があるものです。いくつかのタイプを想定し、それぞれへの対応をしっかりと考えていくことが大切です。図形の問題が補助線一本で解決できたり、数式のくり方一つで展開ができるように、型を覚えることで解き方が見えてきたりします。そうした「見える目」も、日頃の努力で育つものです。

二、**チャンスを活かすために、積極的にアクションを起こすこと。**

チャンスは、待っている暇がありません。攻めの姿勢でチャンスに向きあっていることが大切です。いままでも気づかなかったことに気づき、やりすしたことに重きを置いて、積極的にアクションを寄せてくれるようになりま

三、**チャンスを活かすために、次のチャンスにそなえること。**

チャンスは逃した場合、どうしてそうなったか反省することは、次のチャンスを実現に必要です。チャンスとなりとなります。チャンスを手がかりとなり、次のチャンスを手がかりとなり、次のチャンスを手がかりとなります。チャンスを手がかりとなり、次のチャンスを手がかりとなります。チャンスを手がかりとなり、次のチャンスを手がかりとなります。

以上、三つの場合のいずれをとっても、根底には普遍的な努力、普段の「学問すること」姿勢が必要となります。努力をしないで、基本的な学力すら持たないで、チャンスに気づいたりできるわけがありません。そういった意味で、諭吉は「学問をすすめる」という言葉に込めて、最後になりました。

平成17年入試 上級学校合格者数

	現 役		旧 卒		計		合 計
	男	女	男	女	男	女	
国立大学	22	8	19	15	41	23	64
公立大学	5	7	5	2	10	9	19
準大学	9	0	0	1	9	1	10
私立大学	38	56	68	57	106	113	219
短期大学	0	2	0	0	0	2	2
高等看護	0	0	0	1	0	1	1
その他	1	4	1	0	2	4	6
総 計	75	77	93	76	168	153	321

過去10年間の卒業生数と上級学校合格状況

卒業年	卒業生数 ( )内 女子数	合格総数 (現浪) 合計	現 役 合格数	国公立・準 大 学		熊 本 大 学		私 立 大 学 校	短 門 大 学 校 等	大 学 校 等	
				現	浪	現	浪				
8	168( 72)	326	169	53	33	86	14	6	20	218	22
9	131( 51)	227	95	39	18	57	14	2	16	165	5
10	185( 78)	269	135	40	26	66	6	8	14	190	13
11	206( 90)	352	177	73	31	104	31	11	42	235	13
12	218( 85)	293	142	59	27	86	13	9	22	195	12
13	211( 97)	346	169	60	45	105	24	10	34	221	20
14	188( 75)	280	102	48	46	94	10	14	24	171	15
15	240(102)	329	175	70	48	118	25	9	34	189	22
16	190( 96)	338	150	46	55	101	16	19	35	220	17
17	228(103)	320	152	51	42	93	13	14	27	219	9

